

再評価対象事業の概要

平成１８年１２月

北陸地方整備局

平成18年度 第3回北陸地方整備局 事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表（海岸整備事業）

番号	事業名称	箇所	事業概要	事業採択年度	区分	進捗状況	社会情勢の変化等	事業の効果等	費用対効果	今後の取り組み	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針（原案）
	新潟港海岸直轄海岸保全施設整備事業	新潟県新潟市	新たな侵食対策として「面的防護工法」を導入して、海岸地形をより安定的、持続的に防護し、且つ、より快適で潤いのある海岸環境を創出することを目的とした海岸保全施設整備事業。	昭和61年度	D	事業進捗率： 68%（平成17年度）	背後に市道が開通	<ul style="list-style-type: none"> ・侵食防止に伴う土地、資産等の保全、交通遮断防止 ・浸水防護による被害軽減 ・砂浜の創出によるレクリエーション等の利用向上 ・潜堤による景観向上 ・構造物による生物生息場の創造 	【総便益】 2,469億円 【総費用】 526億円 B/C=4.7	計画的に整備を推進	【整備促進要望】 ・新潟県 ・新潟県新潟市 ・新潟県港湾協会 ・新潟港振興協会	事業継続

区分の内訳
 A:事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
 B:事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業
 C:採択前準備計画段階で5年間経過している事業
 D:再評価実施後一定期間経過している事業
 E:その他

平成18年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：砂防事業 1 / 1）

番号	事業名称	区間	基本諸元	事業採択年度 及び経過年次	区分	進捗状況 H17末 ----- H18実施中の事業	社会経済情勢等の変化			費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針 (原案)	
							過去の主要洪水及び 被害状況		氾濫が想定される区域 内の市町村人口					
									S55					H12
1	荒川水系直轄砂防事業	山形県 小国町 新潟県 関川村 胎内市 荒川町 神林村	【荒川流域】 水源：大朝日岳 流域面積：1,151km ² 流路延長：73km 平均河床勾配：1/73	昭和44年度 37年	B	37.7%	S41.7 集中豪雨 全壊・流失家屋37戸、半壊床上浸水754戸、 床下浸水863戸（胎内川及び加治川流域を含む） S42.8.28 羽越災害 死者・行方不明者90名、全壊・流失家屋1,056戸、 半壊床上浸水8,081戸、床下浸水1,958戸	7.9万人	7.4万人	総便益（B） 2,126（億円） 総費用（C） 1,008（億円） B/C=2.1	・水系における異常堆積土砂の安定化対策 ・土石流災害対策	事業促進要望 （小国町、関川村、胎内市、荒川町、神林村）	事業を継続	

※ 区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業 E：その他
※ 主要洪水については基準点でのピーク流量を記載

平成18年度 第3回北陸地方整備局事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表（道路事業）

No.	事業種別 ※1	事業名称	箇所名 (起終点)	事業の概要	事業延長 (km) ※2	区分 ※3	基準年	事業化 年度	事業をとりまく 社会状況等	事業の効果等	事業の進捗状況 残事業の内容	事業採択時より 再評価実施時までの 周辺環境変化等	事業の状況 及び 今後の見通し	地方公共 団体の意見	対応方針 (原案)
1	地高	一般国道 8号 金沢東部 環状道路	石川県 金沢市 今町 ～ 石川県 金沢市 鈴見台	交通混雑の緩和、広域幹線道路ネットワークの形成、都心部通過車両の分散機能を目的とし、国道8号の金沢市今町～金沢市鈴見台間について環状型幹線道路網計画の金沢外環状道路の一部として整備を行うもの。	9.4 (9.4)	D	H18	S62	・金沢東部環状道路は、「金沢外環状道路」の一部として整備しており、平成18年4月、金沢市月浦町～東長江町間(L=3.6km)の暫定2車線供用により、全線暫定2車線供用を果たしている。 ・現況交通量は33,500台/日であり、2車線運用ですすでに飽和状態である。	・現道等の渋滞損失時間を削減 ・バス路線の利便性向上 ・国土、地域ネットワークの形成 ・主要な観光地へのアクセス向上 ・三次医療施設へのアクセス向上 ・緊急輸送道路ネットワークの確実性の向上 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減 ・夜間騒音レベルの改善	<残事業の内容> ・金沢市梅田町～鈴見台間(L=8.1km)の完成4車線化	・若松・鈴見区画整理事業 ・金沢テクノパークの整備 ・大規模小売店舗の出店 ・金沢大学移転 ・交通量の増加	・早期整備効果が期待できる区間から優先して4車線化し、順次供用を図りながら、H20年代以降の早期に全区間完成4車線化を目指す。	・石川県直轄国道整備促進部会 ・金沢開発協議会 ・東部環状道路建設促進協議会 ・石川県道路整備促進協議会 整備促進を要望	事業継続
					S63	H3	9.4 (8.1)	1,200							
					事業進捗率 ※5	費用 便益比 B/C※6	総便益 (億円) ※7	総費用 (億円) ※7							
					75% (99%)	3.5 (6.5)	5,059 (1,669)	1,448 (258)							
2	2次	一般国道 8号 金沢地区 交通対策 (示野町 地区 6車線化)	石川県 金沢市 今町 ～ 石川県 白山市 福留町 (石川県 金沢市 藤江町 ～ 同市 示野町)	地域経済の成長および沿道での区画整理事業等の目的開発に伴い、増加した自動車交通により、示野中町において、交通混雑・渋滞が慢性化していることから、国道8号の金沢市藤江町から金沢市示野町間について、路肩・北陸自動車道の投雪敷等を活用し、車線数の拡幅等(4→6車線)の整備を行うもの。	24.1 (1.3)	D	H18	H17	・昭和54年度に金沢バイパスが全線4車線供用を図っているが、その後の交通量も増大しており、主要な交差点で混雑・渋滞が生じている。 ・示野中町交差点周辺部において、SCの開店、土地区画整理事業が進展している。	・現道等の渋滞損失時間を削減 ・特急停車駅へのアクセス向上 ・特定重要港湾へのアクセス向上 ・土地区画整理事業との連携 ・国土、地域ネットワークの形成 ・三次医療施設へのアクセス向上 ・緊急輸送道路ネットワークの確実性の向上 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減	<事業の進捗状況> ・平成17年度 用地・工事着手 ・平成17年度 示野中町交差点改良 (左折車線新設) <残事業の内容> ・金沢市藤江町～示野間の完成6車線化(L=1.3km)	・石川県庁移転 ・区画整理事業の進展 ・大規模小売店舗の出店 ・交通量の増加	・平成19年度末に上下線共に1車線増設し、6車線化供用を目指す。	・石川県直轄国道整備促進部会 整備促進を要望	事業継続
					H17	H17	1.3 (1.3)	10							
					事業進捗率 ※5	費用 便益比 B/C※6	総便益 (億円) ※7	総費用 (億円) ※7							
					16% (100%)	15.8 (17.4)	268 (268)	17 (15)							

※1. 【事業種別】 高：高規格、地高：地域高規格、1次：一般1次改築、2次：一般2次改築

※2. 【事業延長】 上段：総延長、下段：()内書きで事業評価対象延長

※3. 【区分】 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 D：再評価実施後一定期間を経過している事業
B：事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業 E：その他
C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業

※4. 【供用済延長】 上段：供用済延長、下段：()内書きで暫定供用延長

※5. 【事業進捗率】 平成17年度末現在の事業費による進捗率(事業費ベース)
下段：()用地進捗率

※6. 【費用便益比】 (総便益) / (総費用) 上段：事業全体 下段：()残事業区間

※7. 【総費用・総便益】 上段：事業全体 下段：()残事業区間